

中国の対外経済政策の展開と ASEAN

九州大学大学院経済学府博士後期課程

久我 由美

1. はじめに

本報告の目的は、中国が ASEAN に対して FTA（自由貿易協定）を提案するに至った要因を浮き彫りにすることである。その際に、中国の対外経済政策の重要な転換点となる「ソウチューチー走出去」政策に焦点を当てて分析を行う。

2. 東アジア地域協力の重要な軸となる中国と ASEAN の FTA

東アジア地域は、1970 年代から 1980 年代にかけて、世界経済における成長の軸として機能してきた。貿易や投資の拡大を通じて相互依存関係が深化する東アジア地域では、近年、FTA 締結の動きが活発化している。この東アジア地域において、とりわけ、中国が重要なアクターとなっている。中国は近年 9% 台の高い成長率を遂げ、実態経済面の動きを通じて東アジア地域の経済を支えている。その中国は、地域協力に向けても積極的な動きを見せ始めた。中国は 2000 年 11 月に最初となる FTA を ASEAN（東南アジア諸国連合）に対して提案した。ASEAN は、外資依存型かつ輸出指向型の発展並びに成長戦略を柱に据えて ASEAN 域内経済協力を展開し、東アジア地域協力における唯一の成功例として機能してきた地域である。ゆえに、中国と ASEAN の FTA は東アジア地域協力における重要な軸になると言えよう。

3. 中国の対外経済政策の変化

中国の対外経済政策の展開を追うと、近年その重要な転換点となる「走出去」政策が打ち出されたことは特筆すべきである。これまで中国の対外経済政策の中心に据えられていたのは、対内直接投資導入政策であった。1997 年頃から、対外直接投資促進政策としての「走出去」政策が合わせて展開されている。この背景として、中国を取り巻く国際環境の変化が挙げられる。例えば、繊維製品における輸入割り当てを回避するために、とりわけ途上国への対外直接投資が志向されるようになった。

「走出去」政策について、大西（2006）は法的側面や支援の側面から、「走出去」政策が対外直接投資促進政策としては不十分であるとの見解を示している。本報告は大西（2006）の見解とは異なり、「走出去」政策は対外直接投資促進政策として益々強化されていると考える。「走出去」政策は、更なる展開を遂げているためである。

4. 「走出去」政策の更なる展開と対 ASEAN 向け投資の強化

政府の見解における「走出去」政策は、2001 年に第 10 次 5 カ年計画として明記された。この中では、大きく分けて、加工貿易、R&D（研究開発）を含む企業の国際的発展、資源の獲得、制度・管理体制の整備が示されている。これらに関する数々の通達を通じて、「走出去」政策は更なる展開を遂げている。とりわけ、中国の対 ASEAN 向け投資が強化されていることは特筆すべきである。中国における ASEAN の位置づけの高まりは、以下に挙

げる三つの重要な通達から明らかにされる。

まず、1999 年に出された「企業の国外帯料加工組み立て業務の奨励に関する通達」では、中国が比較優位を持つ繊維・軽工業、家電産業などを対象とした投資が奨励された。その後、加工貿易に関連して、2004 年 5 月に「アジア地域における繊維・衣類産業の加工貿易向け投資を促進するための国別指導目録」が示された。当目録では、ASEAN 諸国の中で、タイ、ベトナム、カンボジアが明記された。とりわけ、ベトナムやカンボジアでは第三国向けの輸出製品の生産が奨励された。近年では、アメリカや EU（欧州連合）のセーフガード措置を回避するために、ベトナムに進出する縫製業が特に多いことが指摘されている。

2004 年 7 月には「対外投資国別産業指導目録」が発布され、投資奨励国と投資奨励業種が拡大された。当目録では、中国の対外投資管理体制の改革や対外投資の利便性の向上、企業の活動を奨励することが目指されている。ASEAN に着目すれば、ASEAN10 カ国すべてが投資奨励対象地域になった。更に、投資対象産業も拡大され、従来対象となっていた繊維・衣類産業のみならず、農業、採鉱業、製造業、サービス業、その他にも電力供給などの分野が含まれるようになった。

「走出去」政策の更なる展開と合わせて、中国の対 ASEAN 向け投資が近年コンスタントに拡大している。「走出去」政策に後押しされて、実態経済面の動きが拡大していると言えよう。

5. おわりに

本報告では、中国の対外経済政策の重要な転換点となる「走出去」政策に焦点を当てて分析を行った。近年、「走出去」政策は更なる展開を遂げている。とりわけ三つの重要な通達から、中国の対 ASEAN 向け投資が強化されていることが明らかとなった。以上の分析を通じて、対 ASEAN 向け投資を促すための枠組み作りとして、FTA が目指されたとの結論が得られた。

「走出去」政策は、中国の第 11 次 5 カ年計画にも明記されており、一層の展開を遂げて行くであろう。今後、そのように展開を遂げる「走出去」政策に後押しされて、中国の対 ASEAN 向け投資は益々拡大して行くものと考えられる。それに加えて ASEAN も中国からの投資受け入れに積極的であり、中国の対 ASEAN 向け投資の拡大を支えて行くであろう。中国と ASEAN の FTA は、これらの動きを補完して行くものと考えられる。

参考文献

- 刘文纲主编（2002）『中国企业“走出去”战略干部培读本』中共中央党校出版社。
王玉梁（2005）『中国：走出去』中国财政经济出版社。
大西康雄（2006）「中国企業の対 ASEAN 投資」、大西康雄編『中国・ASEAN 経済関係の新展開 - 相互投資と FTA の時代へ -』所収、アジア経済研究所、pp.183-212。
大橋英夫（2003）『シリーズ現代中国経済 5 経済の国際化』名古屋大学出版会。